

連携医療機関のご紹介

本田脳神経外科クリニック 院長 本田 吉穂 先生

あがの市民病院が70周年を迎えました。誠におめでとうございます。

私は、平成6年に水原郷病院に赴任しました。その後、脳神経外科医3人体制となり、脳神経外科部長として、年間120件程度の手術を中心に診療してきました。

当時は救急車を24時間365日断らずに受け入れており、時間外も各科の拘束医師を決めていました。非常に忙しい病院で、深夜でも当直医以外に呼び出された各科の拘束医師がいて、不夜城の如く診療にあたっていました。

平成18年1月には、職員一丸となって日本医療評価機構病院機能評価認定を受けることができました。この病院機能評価取得が決まった時の平成17年秋の医局会議で、平成18年3月までに、非常に多くの医師が退職してしまうことが判明しました。医師の働き方改革など存在しない頃ですので、あまりの過重労働で多くの医師が転職を模索していたのが一気に表面化したのです。ちょうど新医師臨床研修医制度で若い研修医が補充されなかった事が過重労働に拍車をかけました。この医師大量退職により、救急指定病院を返上し、大幅に診療を縮小せざるをえなくなりました。

救急返上で手術数の激減した脳神経外科も私1人だけとなり、神経内科医も居なくなり、神経系の外来、病棟の患者さんの管理以外に、管理職としての会議などで私の疲弊も極限状態となり、残った多くの患者さんを地元で受け入れるべく開業医という形で阿賀野市に残る道を選択しました。

そんな病院の危機的状況から立ち直り、新病院が建設され、名称もあがの市民病院となり、藤森院長のご指導の下、地域医療を支える病院としての機能が回復しています。

これからのますますのご発展を祈念いたします。



特別養護老人ホーム コスモスの里 中山 明 施設長

令和6年1月1日、北陸地方が震度7の地震に見舞われ、お亡くなりになられた方もおられました。また、現在でも避難所や仮設住宅での生活を余儀なくされている方もいらっしゃるということです。“辰年は荒れる”と言われる方もいます。そんな心配をしながらも間もなく年末を迎えます。

私は4月に入職しました。入所施設勤務は初めてで、とても新鮮でした。“コスモス祭り”もその一つです。当日は神楽頭（職員お手製）を携えてご利用者様のところへ伺いました。夜店風屋台も出店され、ポップ焼きなどを召し上がっていただきました。フィナーレには水原甚句の生演奏（歌・太鼓・笛）を楽しんでいただきました。皆さんの笑顔が印象的でした。ご家族様も一緒に参加いただける日がまた来ることを願うばかりです。令和7年も良い年になりますように。



あがの市民病院 スワンだより

70周年記念病院祭 地域愛着病院を目指して



「地域愛着」とは、「ヒトと地域を結ぶ情緒的な絆や繋がり」のことです。「地域愛着病院」とは「住民と地域の病院との“心”のつながり」のことです。つまり、住民の皆様には選ばれる、良いイメージがある、将来にわたって地域づくりに役立つ頼りになる病院になりたいと思っています。当院は1954年創立の「水原郷病院」から、2015年に新病院となった現在の「あがの市民病院」を経て本年で70周年を迎えました。

病院祭では、病院の「これまで、これから」を、住民の皆様と語り合い、分かち合うためシンポジストに、阿賀野市長 加藤博幸様、コスモスの里 施設長 成田妙子様、阿賀野市中島6自治会長 加藤有三様、ピアノボランティア 鈴木基子様、あがの市民病院 香山誠司副院長を迎え、地域医療フォーラムを開催しました。



手洗いチェック

手洗いチェックに大勢参加してくれました。コロナ以降、手指消毒や手洗いをする機会が増えたので、皆さん上手にできていましたが、

いつもより「念入りにした！」という方もいたようです。まだまだ感染予防に手洗いはかせません。この調子で頑張りましょう！

放射線科検査

たくさんの方のご来場がありました。胃の検査のビデオを流し、体を動かすように流れるかをご覧くださいました。

検査結果のパネルに興味を持った方からのご質問に診療放射線技師がお答えしました。



あがの市民病院

〒959-2093

新潟県阿賀野市岡山町13-23 代表☎0250(62)2780

Eメールアドレス syomu@aganocity-hp.com

ホームページ http://www.aganocity-hp.com



あがの市民病院

10月転入職員のご紹介



事務長
石井 栄二

厚生連本部より転勤してまいりました。当院が地域の皆様から愛される「地域愛着病院」となれるよう尽力してまいります。これからよろしくお願いいたします。



主任臨床工学技士
金井 康文

長岡中央総合病院より2年ぶりに転勤して参りました。安全な医療が提供できるよう努めますので、よろしくお願い致します。



主任診療放射線技師
後藤 英夫

新潟医療センターから転勤してきました。初心に立ち返り、1日でも早く病院に貢献できるよう頑張りますので宜しくお願い致します。



理学療法士
高野 裕太郎

新潟医療センターより転入してきました。あがの市民病院の力になれるよう精一杯頑張ります。よろしくお願い致します。



院長のつぶやき

院長室

今年、70周年を迎えることができました。ここまで継続してご支援いただきました、市民・行政・医師会・職員の皆様に心から感謝申し上げます。病院を運営する職員一同、これからも「地域愛着病院」を目指してまいります。



あがの市民病院★70年のあゆみ

～水原郷病院のあゆみ～

- | | | |
|------|---------|---|
| 1954 | 昭和29.12 | 水原町国保直営病院(水原豪伝染病院併設)として発足
一般20床・伝線30床 計50床(診療科:内科・外科・産婦人科・放射線科)
初代中澤転平病院長就任(昭和29年12月17日～昭和36年8月31日) |
| 1957 | 昭和32.7 | 結核病棟40床増設 計90床 |
| 1961 | 昭和36.7 | 第2代寺田一郎病院長就任(昭和36年9月2日～平成3年9月30日)
中央診療棟及び外来診療棟増築(一般100床・結核50床・伝染30床:計180床) |
| 1964 | 昭和39.7 | 病床変更 一般50床・結核50床・伝染30床 計130床 |
| 1970 | 昭和45.9 | リハビリテーション棟・一般病棟増築
(一般150床・結核50床・伝染30床・計230床) |
| | 昭和45.1 | 人工透析開始 |
| 1971 | 昭和46.2 | 総合病院として許可 |
| 1979 | 昭和54.8 | 全面改修(小児科病棟50床増含む)一般312床となり、
地域の中核総合病院となる |
| | 昭和54.11 | 救急告示病院となる |
| 1984 | 昭和59.4 | 訪問介護 開始 |
| 1988 | 昭和63.5 | MRI施設・病棟・健康管理センター増築 |
| | 昭和63.10 | 老人保健施設「五頭の里(50床)」開設 |
| | 昭和63.11 | 一般病棟38床増床 計350床 |
| 1991 | 平成3.10 | 第3代関根理病院長就任(平成3年10月1日～平成12年3月31日) |
| 1997 | 平成9.8 | 訪問看護ステーション開設 |
| 1999 | 平成11.10 | 第7病棟改修工事(療養型病床群42床開設)一般病棟16床減少 計334床 |
| 2000 | 平成12.4 | 第4代川田一也病院長就任(平成12年4月1日～平成12年4月15日)
第5代三浦義昭病院長就任(平成12年4月16日～平成18年3月31日) |
| 2004 | 平成16.4 | 阿賀野市立病院となる |
| | 平成16.5 | 一般病床13床削減し、透析室を拡充(一般病床321床・療養42床) |
| | 平成16.10 | 阿賀野市在宅介護支援センター開設 |
| 2006 | 平成18.1 | 日本医療評価機構病院機能評価(Ver.4.0)認定 |
| | 平成18.2 | 救急指定告示返納 |
| | 平成18.3 | 一般病床115床休止 ⇒ 206床 |
| | 平成18.4 | 第6代尾崎進病院長就任(平成18年4月1日～平成29年3月31日) |
| | 平成18.6 | 特殊疾患療養病棟(一般病棟)42床再開 |
| | 平成18.7 | 阿賀野市病院事業管理者 加藤有三氏就任 |
| | 平成18.9 | 療養病棟を医療型から介護型へ転換 42床 |



昭和29年開院当時の玄関正面内部



～あがの市民病院のあゆみ～

- | | | |
|------|---------------------------|--|
| 2015 | 平成27.10 | 新病院開院 名称を「あがの市民病院」に変更
一般病床144床・療養病床54床・地域包括ケア病床52床; 合計250床
健康寿命延伸・生活習慣病予防治療医学講座
「糖尿病・生活習慣病予防治療センター」開設 |
| 2016 | 平成28.10 | 5階東病棟を一般病棟から地域包括ケア病床に変更
(一般病床92床・地域包括ケア病床計104床) |
| 2017 | 平成29.4 | 第7代藤森勝也病院長就任(平成29年4月1日～) |
| 2018 | 平成30.4 | 健康寿命延伸・消化器疾患先制医学講座「消化器病センター」開設 |
| 2019 | 平成31.3 | 地域包括医療・ケア施設認定(全国国民健康保険診療施設協議会・
全国自治体病院協議会) |
| | 平成31.4 | 健康寿命延伸・運動器疾患医学講座「骨関節疾患センター」開設 |
| 2020 | 令和2.1 | 3階西病棟(療養病床)54床を転換し、介護医療院54床を開設
許可病床数 一般病床92床・地域包括ケア病床104床; 合計196床 |
| 2021 | 令和3.2
令和3.4 | 日本整形外科学会 研修施設認定
4階東病棟(一般病床)40床を休床
稼働病床数 一般病床52床・地域包括ケア病床104床; 合計156床 |
| 2022 | 令和4.5
令和4.12
令和4.12 | 第36回地域医療現地研究会 現地視察; あがの市民病院
日本透析医学会 教育関連施設認定
新潟県から感謝状授与「新型コロナウイルス感染症対策の対策の活動による」 |
| 2023 | 令和5.3 | 「断続的な宿直又は日直勤務許可」取得 |
| 2024 | 令和6.3 | 電子カルテシステムへ移行 富士通社製「LifeMark-HX」導入 |